



2021年
12月6日
No.A21-08

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2021年11月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

・11月10日(水)、下斗米 伸夫 神奈川大学特別招聘教授・法政大名誉教授「プーチン政権と日露関係の展望」(於：オークラ東京)



<要旨>

講師より、まずソ連・ロシア指導者と古儀式派の長い関係についての指摘があり、これに基づき、現在のプーチン政権の内外政が説明された。さらに、岸田政権下での日露関係について展望が述べられた。

(2) 中東情勢オンライン講演会

・11月15日(月)、嶋崎 郁 駐ヨルダン特命全権大使「最近のヨルダン情勢と日本・ヨルダン関係」(Zoom形式)

<要旨>

講師より、ヨルダン内政や外交、中東地域におけるヨルダンの位置付け、COVID-19感染状況、安全保障協力や経済・文化交流を含めた対日関係について解説があった。質疑では、対イスラエル関係や最近の過激派對策、コロナ禍を

経てのヨルダン国民の政治行動の変化について質問が出た。



2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

・2021年11月号(2021年12月7日付)

1. UAE: トルコ・シリア・イランとの関係改善に向けた動き
2. レバノン: 情報相発言をめぐり湾岸アラブ諸国との対立が続く
3. アフガニスタン: UAE、サウジアラビアが大使館活動を再開
4. アルジェリア: モロッコ軍の空爆により自国民の死亡を発表
5. イラン: 中部エスファハーン州で水不足への抗議デモが発生
6. トルコ: 各地で物価高騰に対する抗議デモの発生
7. リビア: 大統領選挙への立候補表明をめぐり対立

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東分析レポートの発行【会員限定】

• No.8「アフガニスタンの現状と日本経済・産業への影響」(11月5日)

• No.9「リビア紛争：外国軍及び外国人傭兵の駐留問題」(11月22日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/)

(3) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

• No.14「イスラーム国中央アフリカ州がウガンダの自爆攻撃を主張」(11月17日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(4) 中東かわら版の発行

No.79「トルコ：G20 ローマ・サミットでバイデン大統領と2度目の首脳会談実施」(研究員 金子真夕、11月2日)

No.80「UAE・シリア：シリア内戦以降、初となるハイレベル会談」(上席研究員 金谷美紗、研究員 高尾賢一郎、11月10日)

No.81「アフガニスタン：印パがそれぞれ国際会合を開催」(研究員 青木健太、11月12日)

No.82「リビア：リビアに関するパリ会合」(研究員 高橋雅英、11月15日)

No.83「リビア：ハフタルが大統領選挙への立候補を表明」(研究員 高橋雅英、11月17日)

No.84「エジプト：2022年のCOP27をシャルム・シェイクで開催」(上席研究員 金谷美紗、11月19日)

No.85「トルコ：トルコリラ史上最安値を更新」(研究員 金子真夕、11月22日)

No.86「トルコ・UAE：ムハンマド・ビン・ザーイド・アブダビ皇太子のトルコ公式訪問」(研究員 金子真夕、研究員 高尾賢一郎、11月25日)

No.87「イラン：核合意を巡るウィーン協議が再

開」(研究員 青木健太、11月30日)

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(5) その他の活動

• 東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとくB/中東諸国の紛争と平和」へ当会研究員が出講した。

① 「争議の政治 (2) 「アラブの春」後」(上席研究員 金谷美紗、11月3日)

② 「西欧とトルコ (1) -公正発展党政権下でのイスラーム主義と世俗主義の拮抗-」(研究員 金子真夕、11月10日)

③ 「西欧とトルコ (2) -トルコはなぜEU加盟を望んだのか、2015年難民危機以降のトルコ-EU関係-」(研究員 金子真夕、11月17日)

• 横浜市立大学が開講するエクステンション講座「現代の中東・北アフリカ・南西アジアを理解しよう～公益財団法人中東調査会の先生方をお招きして～」へ当会研究員が出講した。

「トルコ建国100周年に向けたエルドアン政権の動向」(研究員 金子真夕、11月4日)



• 11月25日(木)、研究員 青木健太「ターリバーン支配と権力移行：「包摂性」の視点から見る現状と含意」*JETRO アジア経済研究所主催のオンライン講座「アフガニスタンの現在：国内情勢と地域的な影響」へ出講した。

- ・11月26日(金)、研究員 青木健太「アフガニスタン情勢の今」*近畿大学国際学部アゼンブリー・アワーへ出講した。

ともございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

3. その他

(1) 要人往来

- ・21日(日)から24日(水)まで、岡田隆駐アフガニスタン日本国特命全権大使はカーブルを訪問し、アブドルガニー・バラール氏を始めとするターリバーン幹部と会談した。

(2) 外務省人事

- ・11月16日(火) 発令
モロッコ大使 倉光秀彰
- ・11月17日(水) 発令
クウェイト大使 森野泰成

4. 12月の予定

- ・12月1日(水)、13:30~15:00、中東情勢オンライン講演会(酒井 啓子 千葉大学グローバル関係融合研究センター長/藤原 帰一 東京大学大学院教授)(Zoom形式)(「9.11後の「対テロ戦争」が生んだもの: IS、内戦、宗派対立」/「権力の限界-覇権後退の中の世界」)
- ・12月9日(木)、8:30~10:00、於: オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(木内 登英 野村総合研究所エグゼクティブ・エコノミスト)「激変する内外経済・金融情勢」*法人会員限定
- ・12月14日(火)、16:00~17:30、中東情勢オンライン講演会(大久保 武 駐レバノン特命全権大使「最近のレバノン危機と地域情勢」)(Zoom形式)

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催するこ

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。